

提案

日付：2022/5/16

件名：毎回同じ返答はやめていただきたい

1.問題、課題：

町長へのお手紙 2018 年度より見ることが可能です。その中でごみ回収方法や回数、衛生指導員の撤廃に関して、毎年数件改善を求めるお手紙が寄せられています。

毎回、環境課からの手紙の結びには『より良い回収方法を前向きに検討してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。』と模範解答のように記載されます。

あと、何年待てばその前向きに検討していった回答を頂けるのでしょうか。（※田畑地区にて資源物の回収が2月に2回行われたことは承知しています）

平成 24 年度リサイクルセンターが立ち上がった後には、資源物回収を月 2 回にしていく、と当時の担当者の方が回答しています。『平成 22 年度外部評価委員会より』すでに 10 年たってしまいました。

昭和 53 年から制度化された衛生指導員は、昭和⇒平成⇒令和になった今も、月 1 時間、1 年を通して資源物の指導をするために町役場から依頼されています。高齢化が高まっているであろうに、また、女性も男性も外へ出て仕事をしている方が増えている現状であっても。

一部の町民の負担は、見えないかのように、今年で 3 年も衛生指導員への町役場からの説明会も開催されないままに続投です。きっと来年度も何も変わらないと諦め半分あります。

2.改善案：

回収方法を変更してほしいという課題に、『作業人員の不足、運搬車の不足、経費の圧迫』を理由にしないでほしい。（※入札によって業者の選別をおこなっているであろうに、なぜ、作業人員の不足、運搬業者の不足を理由に挙げるのでしょうか。）（さむかわ公衆衛生社のみに、毎年決まっているのでしょうか）

衛生指導員に対しては、年の途中でであっても説明会を開いてほしい。何が問題であるかも生の声を聴いてほしい。町役場は謝礼（感謝の気持ち）で 10,000 円払っているから、で終わらせないでほしい。

ごみ回収方法を変えるというのは、一筋縄ではいかないものであると理解は示します。それでも毎回毎回、前向きに検討しています、ご理解とご協力を！というのでは問題がどのように改善していくのか理解を寄せるのはとても難しいです。

3.改善後の効果：

「町長が町政に対する基本的な考え方」で述べられているように、町民ニーズや社会経済環境を的確に捉え、きめ細やかでスピード感を持った対応に努めながら、、若い世代からも選ばれる町に、なっていくと思います。

現状は、昔から住んでいる住民、人の好さそうな方に我慢を強いる町であると感じます。

回答

<毎回同じ返答はやめていただきたい>

【所管：環境課】

ごみ回収方法の課題についてですが、昨年の10月に2回にわたり、eモニターに対する「家庭から出るごみと資源物に関するアンケート」、また、今年2月には、田端地区において、ごみ・資源物収集の試験運用を行い、その後、試験運用収集に伴うアンケートを実施しました。このように町といたしましては、町民の皆様のご意見やご意向の把握に努めてまいりました。

この課題については、アンケート調査からの町民の方々のご意見やご意向、町民のご負担、行政経費などを総合的に考えて決めていかなければなりません。したがって、回収方法の変更のご質問をいただければ、この決め方の根本的な内容につきましては、同じ回答になります。

また、衛生指導員には既に書面により、主な役割などをお伝えさせていただいておりますので、今年度、説明会を開催する予定は現時点ではございません。